

使用の手引き

I はじめに

今回、保健専門職による住民組織のコミュニティ・エンパワメント過程の質的評価指標（以下、質的評価指標と略します）を効果的に活用し、実践の場での評価に役立てるための使用の手引きを作成しました。

使用の手引きを用いることによって、活動の評価の推進に役立てれば幸いです。

II 質的評価指標について

1. 目的

本質的評価指標の目的は、保健専門職によって、住民組織という集団（コミュニティ）を単位として、住民組織がコミュニティ・エンパワメントする過程を質的に評価することです。

本質的評価指標を用いることによって、保健専門職が、支援の必要性和方向性を明確化することが容易になり、支援を改善させ、コミュニティ・エンパワメントを促すことにつながります。また、複数の保健専門職で評価を行うことによって、担当者同士の共通認識を図ることができます。さらに、保健専門職が、評価をすることによって活動の効果を実証し、活用意欲の喚起やほかの専門職との協働の促進などの支援の活性化につながると考えます。

2. 対象

対象は、組織の活動目的に「自己変容」と「社会変容」を含み、地域住民を構成員として、保健領域の健康課題に関する活動を行っている住民組織です。

具体的には、愛育班や生活習慣病改善グループ等の住民組織です。

3. 住民組織のコミュニティ・エンパワメント過程とは

住民組織の人々が、自分たちと地域の人々に共通の保健上の課題に気づき、その改善やwell-beingの実現に向けて、組織内のみでなく、地域に向けて活動をおこし、影響を与えていく過程であり、その結果を含むものです。

4. 使用上の留意点

本質的評価指標は、1つの住民組織の質的な変化を経年的に評価するために活用するものであり、他の住民組織との比較に用いることはできません。

本質的評価指標は、多様な視点を含むため、複数の担当者で協議しながら評価することにより、担当者同士の共通認識を図ることも可能です。

III 記入要項

1. 活用の方法

記入要項には、質的評価指標の構成、指標の説明、記入方法、その他の指標参考例等を掲載しています。

担当者は、記入要項のどこから読み始めても、必要などころのみを読んでもかまいません。

2. 質的評価指標の構成

質的評価指標は、住民組織のコミュニティ・エンパワメント過程の質を評価するための3領域14項目の枠組みと、項目の具体的な状態像を示す質的な段階、評価結果等から構成されています。領域と項目は、以下の内容です。

その他には、基本情報、自由設定指標欄、総合評価・支援の方向性等、その他特筆事項・評価者名が含まれます。

領 域		項 目
I	民主的な住民組織としての成長	①組織の民主性 ②住民組織としての活動の企画運営のあり方 ③構成員の協力関係 ④各構成員の尊重 ⑤活動のやりがいの共有
II	住民組織の地域の健康課題解決への志向性	⑥住民組織の活動目的の明確化 ⑦地域の健康課題の明確化と共有 ⑧地域の健康課題解決のための組織の役割
III	地域の社会資源としての住民組織の活動	⑨地域の社会資源としての活動 ⑩地域の人々への学習活動 ⑪活動や成果の確認とアピール ⑫保健計画等の立案・推進過程への参加 ⑬他の住民組織等とのパートナーシップの形成

	⑭行政・専門家とのパートナーシップの形成
--	----------------------

3. 領域と項目について

領域と項目の意味は、以下の通りです。

領域と項目	意 味
I 民主的な住民組織としての成長	住民組織の民主的で協力的な仕組みとその変化の過程を評価する領域です。5項目から構成されています。
①組織の民主性	<p>住民組織の民主性を評価する項目です。住民組織が、組織運営や活動に関する意思決定を、どのように行っているのか、そのありようを質的に評価していきます。</p> <p>指標では、意思決定を一部の構成員で行っている段階から、構成員全員による議論と合意の形成のもとで行っている段階を示しています。</p>
②住民組織としての活動の企画運営	<p>住民組織としての活動の企画運営のあり方を評価する項目です。本項目では、住民組織の活動の企画運営のありようを、行政との関係から質的に評価していきます。</p> <p>指標では、住民組織の活動の企画運営のあり方が、行政から依頼された活動をそのまま行う依存的な段階から、自己決定して行う自主的なあり方の段階を示しています。</p>
③構成員の協力関係	<p>構成員の協力関係を評価する項目です。構成員の協力関係のありようから、住民組織としての柔軟性や成熟度を判断できます。</p> <p>指標では、住民組織で協力し合える関係がない段階から、組織全体として、柔軟な役割分担ができ、協力し合える関係ができている段階を示しています。</p>
④各構成員の尊重	<p>住民組織における構成員への対応から、住民組織における構成員を尊重する雰囲気の醸成の過程を評価する項目です。</p> <p>指標では、構成員の発言が無視されたり、無理に発言を求める行動があるなど、各構成員を尊重する雰囲気がない段階から、構成員の気持ちや意見を尊重し、必要な対応を考えるなどの行動がみられ、構成員を大切にする雰囲気がある段階までを示しています。</p>

<p>⑤活動のやりがいの共有</p>	<p>構成員が、自分たちの活動のやりがいや喜びを感じ、共有しているかを、語りという行動のありようで評価します。</p> <p>指標では、構成員が自分たちの活動のやりがいや喜びを語ることがない段階から、ほとんどの構成員同士が、語り合っている段階までを示しています。</p>
<p>II 住民組織の地域の健康課題解決への志向性</p>	<p>住民組織が地域の健康課題に気づいて、それを解決するという目的をもち役割を果たしていく過程を評価するものです。3項目から構成されています。</p>
<p>⑥住民組織の活動目的の明確化</p>	<p>住民組織の活動目的とその内容を評価するものです。住民組織の活動目的が明確化されているのか、その内容に地域の健康課題の解決等が含まれているのか等を評価していきます。</p> <p>指標では、住民組織が明確な活動目的をもっていない段階から、地域の健康づくりを実現するための明確な活動目的を持っている段階を示しています。地域の健康づくりとは、単に構成員のみの健康づくりだけではなく、地域環境や人々にも働きかけ、その改善等の社会変容までをめざしたものです。</p>
<p>⑦地域の健康課題の明確化と共有</p>	<p>構成員が、自分たちや地域の健康課題の明確化と共有化をしているかを評価する項目です。共通の健康課題について、構成員が意識化し、組織として共有化までできているのか、自分たちや地域の健康課題への気づきの過程を評価する指標です。</p> <p>指標では、構成員が自分たちや地域の人々に共通の健康課題について、語り合うという行動がなく、共通の健康課題を知らない段階から、語り合いや学習活動を行い、共通の健康課題を明確化し、構成員同士で共有化している段階までを示しています。</p>
<p>⑧地域の健康課題解決のための組織の役割</p>	<p>住民組織が、構成員とそれ以外の地域環境や地域の人々に対して、共通の健康課題解決のために、どのように役割を発揮しているかを評価する項目です。</p> <p>指標では、住民組織が構成員と地域の共通の健康課題解決に対する役割を担っていない段階から、自分たちが必要と判断した活動を行い、構成員や地域にも役割を果たしている段階までを示しています。</p>

Ⅲ地域の社会資源としての住民組織の活動	住民組織が、地域の社会資源として存在し、地域の人々と協働しながら行動していく過程を評価する領域です。6項目から構成されています。
⑨地域の社会資源としての活動	住民組織が、地域の社会資源として、どのように活動を行っているのかを評価するための項目です。 指標では、地域の人々が参加できるような活動のありようを、活動をしていない段階から、活動を継続し、課題に応じて新たな活動まで生み出している段階までを示しています。
⑩地域の人々への学習活動	住民組織の健康づくりに関する学習への取り組みの過程を評価する項目です。 指標では、住民組織が健康づくりに関する学習を、組織内でもしていない段階から、対象を地域の人々にも広げ、地域の人々が参加できるような学習会等まで、継続的にしている段階までを示しています。
⑪活動や成果の確認とアピール	住民組織が、自分たちの活動とその成果の確認・アピールの過程を評価する項目です。 指標では、住民組織が、自分たちの活動とその成果を自分たちで確認していない段階から、積極的に地域の人々や関係者にアピールをしている段階までを示しています。
⑫保健計画等の立案・推進過程への参加	住民組織が、保健計画等の立案・推進過程への参加や貢献をどのように行っているのかを評価する項目です。 指標では、住民組織が、保健計画等の立案・推進過程に誰も参加していない段階から、代表者等が計画立案時に参加し役割を果たすとともに、推進時にも住民組織が一定の役割を果たしている段階までを示しています。
⑬他の住民組織とのパートナーシップの形成	住民組織と他の住民組織との協働活動の過程を評価する項目です。 指標では、住民組織と他の住民組織と協働活動をしていない段階から、必要に応じて複数の組織と協働活動をしている段階までを示しています。
⑭行政・専門家とのパートナーシップの形成	住民組織と行政や保健関連の専門家との協働活動の過程を評価する項目です。 指標では、住民組織が行政の担当者や保健関連の専門家と面識がない段階から、必要に応じて、行政や複数の専門家と柔軟に協働活動をしている段階までを示しています。

4. 記入方法について

1) 質的評価指標について

質的評価指標の左側は、領域、項目、指標、自由設定指標欄です。右側は、評価結果の記載欄になっています（4回分）。右上には、評価する住民組織名をご記入ください。

2) 基本情報欄について

本質的評価指標には、住民組織の基本情報欄を設けています。基本情報は、自由記載です。担当者が必要と考える項目（例えば、組織人数や活動実績、活動資金等）をご記入ください。

3) 領域と項目について

領域と項目は、順番どおりに配列しています。

住民組織の実状に合わない項目は、「選択しない」ことができます。たあし、本質的評価指標の項目は、一部を取り出して評価に用いるものではないため、できるだけ全項目を用いてお使い下さい。

4) 段階について

段階は、各項目の住民組織のコミュニティ・エンパワメント過程を評価する内容で設定しています。段階は1の望ましくない状態から4の望ましい状態への4段階の状態像を表現しています。

段階は、仮に設定しています。担当者は、各項目について段階を用いて評価します。ただし、住民組織の実状に合わない段階の場合には、その実状に合う新たな段階を設定して評価してください。新たな段階は、「自由設定欄」にご記入ください。

段階を用いる場合には、段階2と3の間といった、より詳細な段階を状態像として設定して用いることも可能です。その場合も、自由設定欄をご活用ください。

5) 評価結果の記載について

評価結果欄には、各担当者が評価を行った日付をご記入ください。評価結果は、各項目の段階（ ）の中に、段階（もしくは自由設定の段階）をご記入ください。

自由記載欄は、評価項目を判断した際の住民組織の具体的な状況を記載し、判断の根拠とするものです。必要時のみに記載・活用ください。

6) 総合評価・支援の方向性等欄について

総合評価・支援の方向性等欄は、各評価項目を評価する中で明らかになった住民組織や地域の課題、総合的な評価、支援の方向性等の気づきを表現するためのものです。必要時のみご記入ください。

7)その他特記事項欄について

その他特記事項欄は、評価項目以外の住民組織や地域の変化等を自由に記載するためのものです。必要時のみ、ご活用ください。その他の評価項目参考例（次ページ）も参照ください。最後に、評価者名をご記入ください。

*自由記載欄・総合評価・支援の方向性・その他特記事項欄は、必要時のみに活用するものであり、記載による負担感を抱くことがないようにご注意ください。

5. その他の評価項目参考例

住民組織のコミュニティ・エンパワメント過程を評価する項目には、本質的評価指標以外に以下のような内容もあります。ご参照ください。また、必要時は、質的評価指標「その他特記事項」欄にご記入ください。

◎その他の評価項目例

構成員の思い、構成員の主観的健康観・健康度評価、組織活動が自らの健康問題に役立っているか、活動の満足度、構成員の活動意欲、構成員の自主性、活動の参加状況、会議での発言数、発言内容の変化、組織人数、活動資金、活動の内容、地域住民・行政からの認知度、地域のネットワークにおける組織の位置づけ等

（－保健師等保健専門職調査結果追加項目より－）

構成員の仲間意識、社会資源の活用、住民組織の地域内外の人々の意識や活動への影響

（中山貴美子他、－コミュニティ・エンパワメントの構成概念－
調査結果より）

構成員の活動への自信、住民組織の活動の質の維持・向上、住民の生活実態に沿った支援、住民組織活動による地域住民の交流や助け合いの促進、必要な情報の収集と地域への発信、地域住民との交流

（中山貴美子他、－住民からみたコミュニティ・エンパワメントの構成概念－
調査結果より）